

ティーバッグ充填包装機導入による 桑製品加工の新たな展開

平成25年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

桑の外注加工部分を自社で行うことにより、製品までの行程を自社で全て賄う完全6次産業化を進め、自社のみならず、他桑農家のPB製品の製造も行い、農家全体の収入増に繋げることを目指した。今回の機械装置導入により、非常にスムーズで効率的な作業ができることにより、時間的、経済的コストダウンと、自社で完成品までできるという完全6次産業化を実現した。機械導入以前から、同業者の関心は高く問い合わせが来ていたが、実際に見学会を実施してみると反響は大きなものがあった。受託製造も今後展開し、桑茶農家全体の収入増に繋げる道が開けた。

またティーバッグ充填包装機の製造会社は全国でも限られているが、導入した機械は其中でも最大手のものである。鹿児島県内で三角錐ティーバック充填機導入会社は数社あるが、本機種は計量器付きの最新型で県内でも初導入であり、受託加工においては他社よりも優位であると考え。



導入機械



さつま桑茶

技術開発や課題解決への取り組み

ティーバッグ加工は価格に占める外注加工費の比重が高かったため、自社でティーバック充填包装機を導入することにより製造コストの削減と更に輸送費、有機 JAS 対応費用等を抑えることにも繋がった。また、他社との差別化が明確になった。

更に自社製品のみならず、他社原料の加工ができるという大きなメリットがあり、下記のような問題を解決できることとなった。

- ・原料としての桑の生産や1次加工のみである。
- ・売り先が限られている。
- ・売り先はあっても原料卸しのみである。
- ・桑の生産者が増え卸し価格が下がってきている。
- ・製品は1次加工の荒茶を粉碎した桑粉末のみである。
- ・販売ができない。
- ・商品が作れない。(商品としての完成度が低い)



受託加工の PB 商品



工場外観

事業者 株式会社 わくわく園

代表者 代表取締役 青木 基暢

設立年月 平成18年8月

所在地等 〒899-5231
始良市加治木町反土4-15-249
TEL: 0995-62-3030
FAX: 0995-62-0631
E-mail: info@wakuwakuen.com
http://www.wakuwakuen.com/

事業区分 革新的サービス

資本金額 500万円

従業員数 11人

業 種 食料品製造業

株式会社 わくわく園 の

生魂
いっだまし

取締役 副社長
青木 智美



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

わくわく園は、始良市で桑葉・桑の実の生産、桑を利用した商品開発・製造・販売を行っている。しかしながら、実際は1次加工の乾燥桑葉までの加工であり、しかも手作業のため品質が不安定という課題があったため、補助事業開始前に1次加工の桑荒茶製造ラインの導入を行った。この段階で高品質の桑加工原料を生産することが可能になったわけであるが、まだ県内同業者の1次加工と変わりはないことから、自社による最終製品化を目指した。

今後の取り組みは？

今まで原料卸しのみであった農家や1アイテムしか商品がなかった農家に新たな製品（ティーバッグタイプの桑茶）の提案を行い、桑農家全体の収入増や原料卸しのみのリスクの回避に寄与したいと考える。具体的には、ティーバッグ製造により桑生産農家の PB 商品を作り、原料卸しのみから付加価値のついた商品の展開を図り、県内同じ規格の製品を製造することで顧客流出を防ぎ売り上げの安定化を図る。さらに当社の販売ノウハウを伝え地元物産館を中心に商品の定着化を図っていく。